

## 長野赤十字病院 新病院建設予定地の承諾について



長野赤十字病院と若里多目的広場（西側からの空撮）

## 新病院建替えに関する経緯

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| <p>H29<br/>6月</p> <p>7月</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●長野日赤から市議会に請願(全会一致で採択)及び市に要望<br/>「病院建替えに関する諸課題について、市と病院で包括的に協議する場を設置すること」</li> <li>●「長野赤十字病院建替え検討会議」を設置</li> </ul>         |
| <p>H30<br/>1月</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●検討会議からの中間報告<br/>「新病院の建設候補地は、若里多目的広場とすることが最適」</li> <li>●長野赤十字病院から市に要望<br/>「若里多目的広場を新病院の建設候補地として、新病院基本構想を策定すること」</li> </ul> |
| <p>R2<br/>3月</p> <p>4月</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●長野日赤 新病院基本構想の策定</li> <li>●長野日赤から市及び市議会に「新病院基本構想」を報告</li> <li>●市に要望<br/>「若里多目的広場を新病院の建設候補地から建設予定地として認めていただくこと」</li> </ul>  |

# 新病院基本構想の概要

## 1 長野赤十字病院の概要

- (1) 創立 明治37年(1904年)4月1日  
昭和58年(1983年)10月1日に北石堂から若里(現在地)へ移転
- (2) 病床数 680床 (一般635床、精神45床)
- (3) 診療科 35科
- (4) 職員数 1,360人

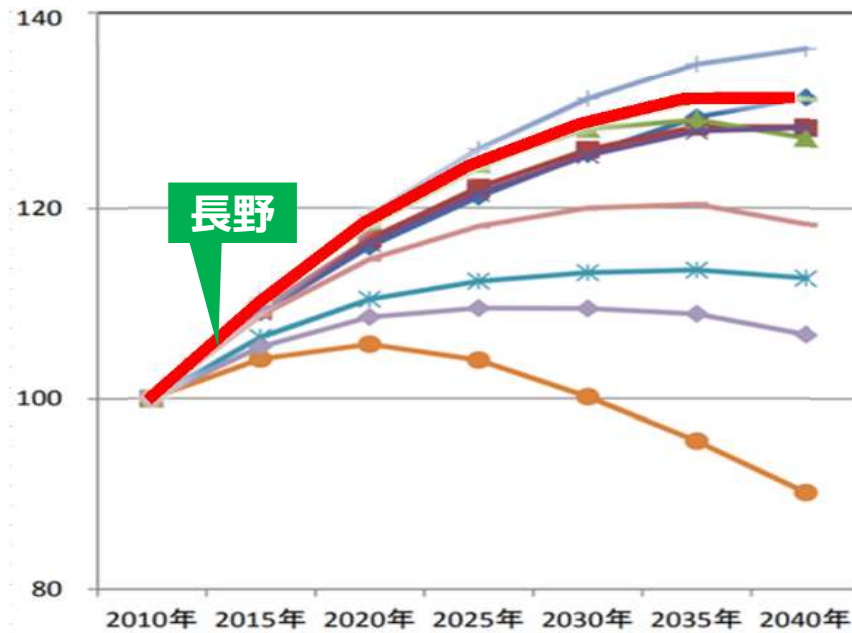
### ●市内公的病院の機能比較

| 病院名称     | 病床  | DPC<br>病院群 | 災害拠点<br>病院 | 救急医療                 | 地域医療<br>支援病院 | がん診療<br>拠点病院 | 周産期<br>母子医療 | 小児<br>救急     | 精神<br>病棟 | 地域医療<br>人材拠点 |
|----------|-----|------------|------------|----------------------|--------------|--------------|-------------|--------------|----------|--------------|
| 長野赤十字病院  | 680 | 特定         | 基幹・地域      | 救命救急<br>センター<br>(3次) | ○            | ○            | 地域          | 地域医療<br>センター | ○        | ○            |
| 長野市民病院   | 400 | 標準         | 地域         | 2次                   | ○            | ○            |             | 地域<br>連携病院   |          | ○            |
| 篠ノ井総合病院  | 433 | 標準         | 地域         | 2次                   | ○            |              | 地域          | 地域医療<br>センター |          | ○            |
| 長野松代総合病院 | 365 | 標準         |            | 2次                   |              |              |             | 地域<br>連携病院   |          |              |

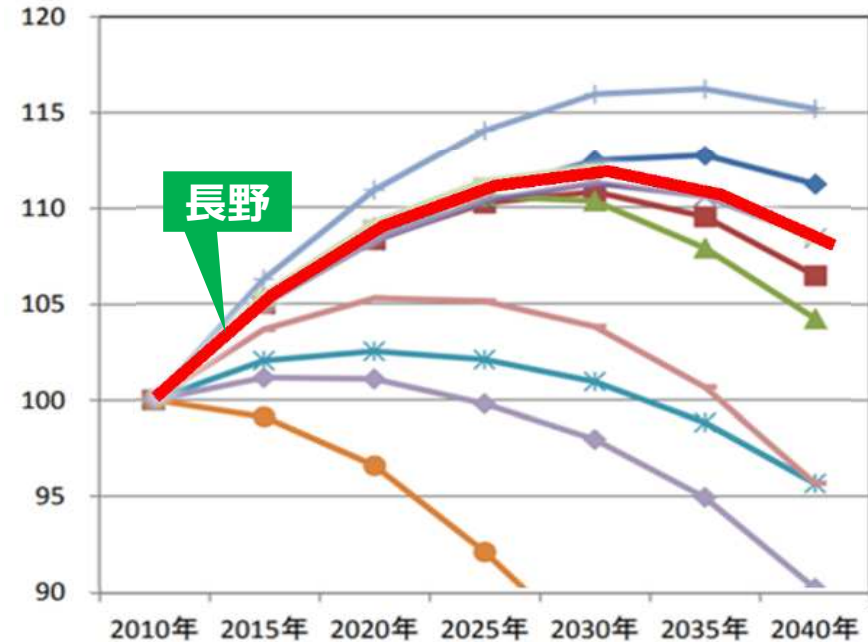


## 2 長野赤十字病院を取り巻く環境

入院患者の推移



急性期の入院患者の推移



◆ 佐久
 ■ 上小
 ▲ 諏訪
 ✕ 上伊那
 ✱ 飯伊
 ● 木曾
 ◆ 松本
 — 大北
 ■ 長野
 ◆ 北信

- 今後人口は減少するが、**高齢化率は増加し、2040年頃には40%に達する見込み**
- 入院患者は、高齢者を中心に今後増加し、**入院患者全体では2035～2040年頃、急性期では2030年頃にピークを迎え、その後は減少**
- 現病院施設は、建設から37年が経過し、**施設の老朽化と敷地の狭隘化が進行**

### 3 新病院の整備方針

#### ◆ 地域に信頼される病院をつくる

- 免震構造の導入や設備配置の工夫などにより、地震・台風・水害などの様々な災害に対応できる施設・設備を整備
- 重篤な感染症の発生時でも安全に対応できる施設

#### ◆ 将来の変化にも対応できる病院をつくる

- 人口構造の変化、地域に必要な機能や各種技術の進歩に対応可能な施設
- 省エネルギー、省資源化や自然エネルギーを活用した施設
- 地域に開かれた病児・病後児保育を行い、子ども・子育てを支援

#### ◆ 優秀な人材が集まる病院をつくる

- 院内保育所など職員が安心して働ける環境を整備
- 全ての職員がスキルアップを図るための教育設備を充実
- ICTなどの最新技術を積極的に活用し、業務の負担を軽減



## 要望への対応等について

### 1 長野赤十字病院からの要望事項

新病院建設着工に向けて、重要な基本計画策定に着手するため、「**若里多目的広場を(建設候補地から)建設予定地として認めていただきたい**」

### 2 検討会議における確認事項

- 患者等の利便性(交通アクセス等)、市内公的病院の配置バランス、移転時の患者の安全確保及び負担軽減等の観点から、**若里多目的広場は新病院建設の最適地**
- 長野日赤が指定調査機関による若里多目的広場の土壌調査を行い、**諸基準に適合した土地**であることを確認
- 新病院建設に先行して、建設候補地に**長野日赤が立体駐車場を整備し、病院建設中は、ビッグハット駐車場として共用**

### 3 今後の主たる検討課題

下記の諸課題について、引き続き、検討会議等において協議

#### ●新病院建設用地としての適格性の更なる確保

河川の氾濫を想定し、周辺への影響も考慮した浸水対策について、ライフラインの確保、機器の配置場所や患者の受入スペースの整備等

#### ●建築に係る規制への対応

新病院に必要な機能、規模、建物配置等が可能となるよう建築規制(用途地域、容積率等)の見直し

#### ●ビッグハット駐車場の確保

新病院建設段階等に応じた具体的な駐車台数や大型車両の駐車場所



## 4 要望に対する本市の考え方

次に掲げる3つの観点から、**長野赤十字病院からの要望について承諾**することとしたい

- 長野赤十字病院は、今後も本市及び周辺地域にとって、規模及び機能の両面から**重要な医療拠点**であること
- 検討会議等において若里多目的広場は、**新病院建設の最適地**であることを確認していること
- 新病院建設着工に向けて、重要な基本計画等の策定へ移行していくに当たり、市として**若里多目的広場を新病院の建設予定地として正式に承諾**することが必要であること